名古屋建築設計研究会の目的

本研究会は名古屋市に本社を置く建築設計専業事務所の代表者を 会員として、都市・建築の設計監理業務の質的向上を図り、 名古屋の建築文化の発展に寄与することを目的としています。

本研究会は目的を達成するため下記の活動に取り組んでいます。

- 1. 建築設計監理業務等の円滑な推進を計るための研究
- 2. 業務に関して、行政との協力
- 3. 情報の交換及び、技術の向上のための講習会の開催
- 4. その他当法人の目的達成に必要な事業

理事会の構成 (令和2年度)

代表理事 西井 信幸

副代表理事 富成 篤也 成田 益美 準司 理事 桑山 小木曽森司 城戸 小田 義彦 康近 山内 泉 水野 豊秋 三千男 / 監事 森口 雅文 市川 廣高 顧問 浦野 黒川 喜洋彦

石田 壽

委員会の構成

総務委員会 / 企画委員会 / 情報委員会 / 研修委員会

名古屋建築設計研究会の活動(平成31・令和元年度)

1)講習・研修見学会

①研修見学会「富士山世界遺産センター、静岡建築見学会」

日時 平成31年4月13日(金)

富士山世界遺産センター・静岡市芦沢美術館他 場所

②総会併催講習会 『県・市における建築・住宅関係の主な取組みと施策』

日時 令和元年5月16日(木)

講 師 愛知県建築局技監 成田清康 氏

名古屋市住宅都市局営繕部長 山口啓一氏

2) 講演会

①「働き方改革・あなたの事務所は大丈夫ですか?」

日時 令和元年10月15日(火) 講師 社会保険労務士 中川美紀 氏

②「現代世界建築を展望する-4」

令和元年11月8日(金) 日時

建築ジャーナリスト 淵上正幸 氏 謙 師

3) 意見交換会

①「名古屋市との意見交換会」

令和元年11月12日(火)

名古屋市住宅都市局営繕部長始め8人

②「愛知県との意見交換会」

日時 令和元年11月14日(木) 出席者 愛知県:建設部 技監 始め8人

①平成31年度愛知県・名古屋市業務発注記録: HP会員情報に掲載 ②平成31年度公募プロポーザル・コンペ情報:メール配信 計17回

③「建築申請メモ」書籍の配布(各会員1冊ずつ)

5)調査

①名古屋市・愛知県との意見交換会のためのアンケート(H31年11月) ②平成31年度設計業務量に関するアンケート(R元年4月)

6)会員交流

①総会後懇親会 : 5月

③冬季懇親会 : 12月 ②夏季懇親会 7月

会員名簿 42名 ・・・ (会員の所属先会社名)

ア行 荒牧 伸次 (㈱荒牧設計事務所 安藤 敦也 (㈱安藤建築設計 安東 広晶 (㈱黒野建築設計事務所 石黒 正則 (㈱アズテック建築設計研究室 石田 壽 (㈱中建設計 市川 三千男 (㈱市川三千男建築設計事務所 岩崎 征一 (㈱岩崎設計事務所	
安東 広晶 (㈱黒野建築設計事務所 石黒 正則 (㈱アズテック建築設計研究室 石田 壽 (㈱中建設計 市川 三千男 (㈱市川三千男建築設計事務所	
石黒 正則 ㈱アズテック建築設計研究室 石田 壽 ㈱中建設計 市川 三千男 ㈱市川三千男建築設計事務所	
石田 壽 ㈱中建設計 市川 三千男 ㈱市川三千男建築設計事務所	
市川 三千男 佛市川三千男建築設計事務所	
岩崎 征一 ㈱岩崎設計事務所	
浦野 廣高 ㈱浦野設計	
大橋 健太郎 ㈱都市設計A&U	
岡本 佳久 (株)岡本建築事務所	
小田 義彦 (株)伊藤建築設計事務所	
力行 加藤 昌之 (株加藤設計	
加藤 芳彦 柴山コンサルタント(株)一級建築士事	務所
城戸 康近 (株城戸武男建築事務所	
清谷 英広 中日設計㈱	
黒川 喜洋彦 (株黒川建築事務所	
黒瀬 正美 ㈱ワシノ設計	
黒田 浩之 (株)錦建築設計	
桑山 準司	
纐纈 俊英 (株協和設計事務所	
小木曽森司 (株)	
小林 昭太	
近藤 眞二 (株)田中綜合設計	
サ行 繁野 民輝 ㈱ユーエス計画研究所	
柴田 利実 ㈱TAS建築設計事務所	
タ行 高岡 一郎 ㈱トクオ	
富成 篤也 ㈱畑中建築事務所	
外山 重利 (株)ドゥプラン	
ナ行 中西 曄 ㈱オウ環境設計事務所	
中山 博史 翔設計クラブ	
成田 益美 (株)ナリタ設計	
西井 信幸 (株)西井都市建築設計事務所	
ハ行 原 宏 ㈱藤川原設計	
平岩 保 協同組合建築連合設計	
細井 昭男 ㈱都市造形研究所	
本田 伸太郎 (株本田建築設計事務所	
マ行 水野 豊秋 ㈱ヤスウラ設計	
森川 礼 ㈱中建築設計事務所	
ヤ行 柳澤 講次 ㈱柳澤設計事務所	
山内 泉 ㈱青島設計	
山田 正博 衛建築計画工房	
吉川 武宏 (株神田設計	
監事枠 森口 雅文 (株伊藤建築設計事務所	

※淵上正幸氏講演会 案内

2019 講演会

現代世界建築を展望する-4

Overview of Contemporary World Architecture-4

20 世紀に入って早 20 年が過ぎよういう今日、中国の経済発展で牽引されて世界の建築家が 多数中国に流入し、同国は建築デザインの坩堝と化した。これは世界の建築家の移動性に拍車をかけた。 今回自国以外でデザインされた世界の話題建築をメインに紹介する。











2 ©Iwan Baan, 3 Courtesy of Michael Moran for Related Oxford

淵上 正幸/ Masayuki Fuchigami



建築ジャーナリスト (株)シネクティックス主宰

2018 年日本建築学会文化賞受賞、海外建設業との情報交換により、 株果、選集・インダニー、海外建築サアー等を手掛ける。上書に世界の 建築等 5 1.人一型学生作品(《印記》)、3-日の7度業業時 1-31 (TOTO 出版)、「下25-240万と・地震等・アーキアが問題だ。(TOTO 出版)、「下25-240万と・地震等・アーキアが問題だ。(TOTO 出版)、「下270年度報 1-22 (TOTO 出版)、「世界の業態を持ち、 人: コンセプトと作品(IADP)、「建築業を必むして (日刊建設遺産 新聞社)「アーチのン・スワチェ) - 7-27 (プラフィッカ社)、「建築 手帳 2020 (南公治) など。